

市政に対する一般質問

〳〳〳10名の議員が質問〳〳〳

9月定例会の一般質問は、9月20日・21日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

伊藤 勝美	所有者不明化の土地・建物問題について	他
沼倉 啓介	本市の上水道事業について	他
菊地 忠久	仙南・仙塩広域水道事業への料金設定について	他
四竈 英夫	市民の危機管理体制について	他
佐藤 秀行	益岡公園野球場について	他
佐久間儀郎	空き家等対策について	他
佐藤 龍彦	デマンド型交通システムについて	他
大野 栄光	高速道路の防音壁について	他
菅野 恭子	音のバリアフリー化推進に新装置導入を！	他
松野 久郎	「小さな拠点」について	他

所有者不明化の土地・建物問題について



伊藤 勝美

農地で515筆、あとはその他となっている。

〔質問〕土地・建物の所有者が死亡し、相続人が不明のものは市内にどのくらいあるのか。また、その原因をどう考えているのか。

〔答弁〕〔税務課長〕平成29年1月1日現在で、土地152筆、建物39棟、課税件数は19件ある。原因は、相続放棄や相続人不存在があるが、相続が発生しても資産としての関心が低く、先祖伝来の土地への関心が薄れてきているのではと考えている。

〔質問〕税徴収のための相続人追跡調査はどの程度まで行うのか。

〔答弁〕〔税務課長〕他市町村、他県でも書類が取れるところまで追いかけて調査している。

〔質問〕相続人が相続した土地・建物の採納、寄付を申し出た場合、本市はどのような対応をしているのか。

〔答弁〕〔財政課長〕物件にもよるが、市に負担がかかるものについては、受け入れは難しいと判断している。

〔質問〕所有者不明の土地が増加すると予想されるが、この問題に対する本市の対応について見解を伺う。

〔答弁〕〔税務課長〕総務省は、未利用農地や未利用商業施設の利用促進を図る目的から、そのような土地・家屋に対しての重課税の検討を行なっている。今後は、国の動向を注視して対応していきたい。

【その他の質問】

◎市民の命を守るための危機管理について

◎ふるさと納税制度について

◎小・中学校教員の勤務について